

高陽東高等学校 特色ある授業「世界事情」

科目「世界事情」の紹介

本校では3年次生を対象に「世界事情」という学校独自の選択科目を開講しています。この科目の目的は、第一に世界の様々な国々に関わる諸団体の活動について、本校職員による授業だけでなく外部講師を招いての授業によって、世界の現状についての知見を深め、諸問題の原因及び解決方法について探究したり、外国の文化・風土について学習したりすることです。

①今回のテーマ「カタールの文化と日本との結びつき」

令和3年11月8日(月) 3・4限 実施

講師：カタール会 松田 和彦 先生

今回は、中東の国カタールという国及びその文化について紹介していただきました。暑い国ということと、最近ではサッカーが強いことでも有名ですが、それら以外で知っていることはというとあまりありませんでした。今回は天然ガスの輸入など、日本との経済的な関係が強だけでなく、非常に親日的な国であることを知り、大変驚きました。



授業の様子



講師・スタッフの皆さま

授業では、なつめやしの実（デーツ）を持参していただき、オタフクのお好みソースがコクのある甘みを出す原材料としてデーツを使い続けてきたことも教えていただき、驚きでした。

また、カタールコーヒーの試飲では、自分たちが知っているコーヒーの味とは何か違うものの、こういうコーヒーがあるということが分かったことも貴重な体験となりました。民族衣装の試着体験も新鮮でした。丁寧な説明のみならず、用意していただいた資料も学習に大変役立ちました。

カタール会による出前授業はこの度で6年連続ということでした。また、1994年に広島で開催されたアジア大会を契機とする絆がカタール会を通じて保ち続けられていて、そのおかげで今回の学習もできました。

松田和彦先生、カタール会会長の久保田清様をはじめカタール会の方々、この度は本当にありがとうございました。

②今回のテーマ「大韓民国の文化」

令和3年11月1日(月)3・4限 実施

講師：大韓民国民団 事務局長 文 晶愛 先生，金 淑英 先生

今回は大韓民国の文化について講義をしていただきました。また簡単なハングルや挨拶などの日常会話についても教えていただきました。



授業の様子

大韓民国はわたしたちにとって最も身近な国の一つであり、生徒たちも韓流ドラマやK-POP等に親しんでいる人も多く、大変興味を持って聞いていました。そんな身近なはずの韓国の文化ですがやはり日本とは違うところも多く、韓国の方と実際に交流する時に役立つ言葉や、習慣などを知ることができ大変興味深い授業となりました。また民族衣装を着る体験や民族楽器（チャンゴ）体験などがありました。

講師の文晶愛先生、金淑英先生、誠にありがとうございました。



民族衣装を着てみる体験



民族楽器の演奏

③今回のテーマ「マレーシアの文化」

令和3年10月25日(月)3・4限 実施

講師：三木 洋子 先生 ， 三木 薫 先生

今回は、東南アジアの国で、多民族が調和し、独自の文化を持つマレーシアの文化について、紹介していただくとともに、多文化共生のマレーシア文化の体験をさせていただきました。



授業の様子

民族構成は、マレー系、華人(中国)系、インド系の順で多く、使用言語は民族によって大きく違います。例えば、マレー系ならマレー語、中華系なら中国語、インド系はタミル語というようにです。公用語はマレーシア語、英語は共通語として通用します。宗教はイスラム教でマレーシアの国教となっています。



民族衣装を着てみる体験

民族によって宗教も多様ですが、お互いにそれぞれの宗教を尊重して、平和的に共存しているといったことを知ることができました。

民族衣装を着る体験もさせていただきました。

また、竹製の民族楽器(アングルン)の紹介及び演奏も体験させていただきました。実はあまり知らなかったことの多いマレーシアの文化に驚くことが少なくありませんでした。

今回の授業によってマレーシアについてその文化や現状を知ることができただけでなく、多文化共生について考える機会にもなりました。また、マレーシアという国は多言語使用という意味ではまさに“グローバル”社会なのだと気づかされました。

三木洋子先生、三木薫先生、この度は本当にありがとうございました。

④今回のテーマ「中国市場の底流から中国の真相を知る」

令和3年8月30日(月)3・4限 実施

講師：広島経済大学 広田 堅志 先生

今回は中国の歴史や経済について、またグローバル経済を理解するために、生徒に身近なiPhoneなどを例に日本や中国との経済的な結びつきについて講義をしていただきました。



授業の様子

スライド・映像を用いて、丁寧で詳しく中国の歴史や日本と中国の経済的な結びつきについてお話いただきました。普段の歴史や公民の授業ではなかなか触れることができない生き生きとした話題について取り上げていただき、生徒

も関心を持って聞いていました。

講師の広田先生，誠にありがとうございました。

⑤「ユニセフの活動とわたしたち」

令和3年5月10日(月)3・4限 実施

講師：広島県ユニセフ協会 事務局長 高田 和美 先生

今回は，世界の子どもたちの命と健康と未来を守るために活動している国連機関ユニセフ(unicef)の活動について講義をしていただきました。募金活動をしているイメージが強かったようですが，スライド・映像・支援物資・展示パネルを用いて，丁寧で分かりやすくユニセフの活動を説明していただき，活動の詳細を知ることができました。



授業の様子



支援物資など

講義のあと，グループに分かれて，いま世界にどんな問題があるのか洗い出し，2015年に世界の目標になった17の「持続可能な開発目標(SGDs)」を確認して，出し合った諸問題を分類し，どうすれば解決できるのかを話し合いました。このような学習活動によって，高校生の自分たちにできることは何だろうかという

ことを真剣に考えることができ，有意義な学習になりました。

講義において世界の子どもたちのおかれている厳しい現状を知ることで，希望ある未来を迎えるためには，子どもたちが生まれ持った可能性を十分伸ばして，健やかに成長することの重要性をより深く理解することができました。

講師の高田先生，ボランティアの佐々木様，誠にありがとうございました。